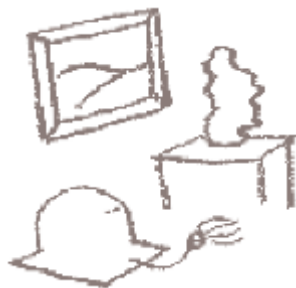


令和8年度 宮城県/仙台市障害福祉サービス事業所等集団指導

障害のある人の生涯学習について



NPO法人エイブル・アート・ジャパン
作成：令和8年6月

この資料の解説動画



<https://youtu.be/Aqx9Hw3FBxc>

内容

1. 団体紹介
2. 障害のある人の生涯学習について
3. 宮城県・仙台市内の事例のご紹介
4. 情報発信サイトのご案内

1. 団体紹介



まぜると世界が変わる

SOUP

Sign × Open × Upset × Planet



事務所は
青葉区上杉4丁目に
あります

- ・ 2014年～ 障害者芸術活動支援センター@宮城（愛称：SOUPスープ）の運営（厚生労働省「障害者芸術文化活動普及支援事業」として）
- ・ 2018年～ 宮城県からの受託事業として実施
- ・ 2021年～ 障害者の生涯学習事業
- ・ 運営は、NPO法人エイブル・アート・ジャパン

A B L E
A R T
J A P A N

1. 団体紹介



SOUPの活動内容



相談窓口の
設置と支援



芸術文化活動を
支援する
人材の育成



関係者の
ネットワーク
づくり



芸術文化活動に
参加する
機会の確保

1. 団体紹介

So 相談事例

発表する・広報する・記録する・保存する
展覧会を開催して多くの人に作品をみてほしい。
どんな場所やアイデアがあるか相談したい。



方法・支援者

絵画活動の時間をもちたい。講師として携わってくれる専門家を紹介してほしい。

場所・材料・道具

自宅やグループホームから通える場所で絵を描きたい、ダンスをしたい。

鑑賞する・対話する

視覚障害のある人とともに美術を鑑賞したい。県内の活動グループをおしえてほしい。

So 情報発信



ウェブサイト、チラシ、SNS等で情報を発信！

2. 障害のある人の生涯学習について

＼冊子「だれでも、いつでも、学べる社会へ」／

- ・ 卒業してもたくさんある、学びの場
- ・ 学校以外の場でも学ぶこと、
人生を通して学び続けることを、生涯学習という
- ・ 障害のある人もない人も共に学び続けることができる社会を、国は目指している・・・しかし！？



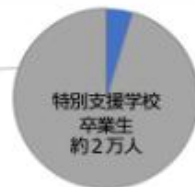
2. 障害のある人の生涯学習について

障害者の生涯学習に関する現状と課題

障害者の学校卒業後の状況

特別支援学校から高等教育機関への進学率は約4%、ほとんどの障害者が就職又は障害福祉サービス（就労移行支援・就労継続支援）などに進む。

就職：30.1%
障害福祉サービス
：60.3%
〔計：90.4%〕



障害者本人の意識、ニーズ

※平成30年度 障害者本人の意識等調査の結果より

「一緒に学習する友人、仲間がいない」 →71.7%

「学ぼうとする障害者に対する社会の理解がない」 →66.3%

「知りたいことを学ぶための場や

学習プログラムが身近にない」 →67.2%

出典：令和4年2月6日「第4回きいて、みて、して、見本市。スウブノアカデミア成果発表会」での話題提供「障害者の生涯学習施策」（文部科学省 総合教育政策局 男女共同参画共生社会学習・安全課障害者学習支援推進室長 清重 隆信）より



＼生涯学習とはなんだろう？／

- 学校教育、社会教育、家庭教育
- 社会教育→「学ぶ人が自らの学びを選択する」
- 「わたしたちのことを、わたしたち抜きで決めないで」



2. 障害のある人の生涯学習について

国

- ▶ 生涯学習をどのように進めていけばいいか、考えたり、仕組みをつくったりします。
- ▶ 都道府県や市町村などが生涯学習を進められているか調べます。
- ▶ 障害について多くの人に知ってもらいます。
- ▶ だれでもいっしょに学べる環境をつくることを目指しています。

都道府県や市町村

- ▶ 障害のある人が生涯学習について希望していることや困っていることを相談でき、それを解決できる環境をつくります。
- ▶ 生涯学習の情報を広く伝えます。
- ▶ 生涯学習をできる場が少ないなら、施設や団体と協力しながら学べる場所を増やしていきます。
- ▶ 生涯学習をどうすすめていくか計画や目標を決めます。

文部科学省『だれでも、いつでも、学べる社会へ』より
https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/mext_00601.html

それぞれの役割



特別支援学校など

- ▶ 生徒が「生涯学習をやりたい」と思えるようにします。
- ▶ 卒業してからも学びつづけられるよう、卒業したあとに行く会社や施設と協力します。

大学など

- ▶ 障害のある人の学びの場として期待されています。
- ▶ 障害のある学生のサポートをします。

地域の団体など

- ▶ 生涯学習をしたい人たちのための学びの場をつくります。
- ▶ 生涯学習の情報を役所やほかの団体に伝えます。

会社など

- ▶ 障害のある人も仲間として受け入れていっしょに働きます。
- ▶ 働いている人が自分の方をのぼして仕事にいかすことができるよう、生涯学習をサポートします。

2. 障害のある人の生涯学習について

別添：障害者の生涯学習に向けて関係機関に期待される取組（各論）



文部科学省

共に生きる

主体別の整理 障害者の生涯学習の目的や内容は、その実施主体ごとに目指す目的が異なるため、それぞれの実施主体の担い手に求められる役割も異なる。そのため、本検討会では、議論のまとめと並行して、実施主体毎に想定される担い手、現状と課題、期待される取組、求められる役割、として整理した。

実施主体	想定される担い手	現状と課題	期待される取組	求められる役割
教育委員会事務局	・社会教育主事等 ・社会教育・生涯学習担当者	・「障害者支援＝福祉分野の施策」という先入観 ・実施団体等との連携	・障害者理解や合理的配慮の実施に関する研修等の企画・実施 ・福祉との連携、自立支援協議会等の参加	・社会教育主事等が中心的な役割を担う ・行政、団体等とのネットワークづくりのとりまとめ役 ・地域資源を最大限活用した環境の醸成
公民館 生涯学習センター	・公民館等職員 ・社会教育団体、サークル、地域住民	・障害者の学習支援の経験不足 ・取組の地域間で格差	・既存事業で合理的配慮の実施や障害の有無にかかわらず共に学ぶ場の提供 ・誰もが参加できる団体・サークルの育成	・障害者に寄り添い、対話し向かう姿勢 ・福祉と連携し地域資源の把握・活用 ・障害者が継続的に学び続ける環境づくり
図書館	・司書等、職員 ・ボランティア ・図書館協力者	・障害者が利用可能な書籍等の不足 ・読書環境の未整備	・各館の特性や障害のある利用者ニーズ等に応じたサービスの提供体制 ・社会教育・福祉部局と点字図書館との連携	・障害種のニーズ等を理解した適切な対応 ・著作権法等の正しい理解 ・障害当事者の司書等によるピアサポート
特別支援学校	・教職員 ・ボランティア ・教員OBOG等	・学校卒業後の学びを見直し生涯学習の観点を踏まえた指導の充実	・生涯学習の意欲向上に向けた取組 ・学校運営協議会等の仕組みの活用 ・同窓会が生涯学習活動を担うことに期待	・地域学校協働活動など地域に開かれた学校 ・教職員経験者によるコーディネーターやアドバイザーとしての役割
大学等 高等教育機関	・大学教職員 ・学生 ・社会連携担当	・オープンカレッジ、公開講座等の活動継続のための体制づくり	・オープンカレッジ、公開講座等の継続的な実施 ・履修証明を行うプログラムの実施等 ・教職員、学生などが関わるための取組	・大学の特色を生かした学びの場の提供 ・学生サークルなどの活動を通じた地域との連携 ・学生が担い手となる活動への支援
障害福祉担当部局 障害者（福祉）センター	・障害福祉担当 ・自立支援協議会構成メンバー	・社会教育、生涯学習と福祉部局との連携と役割分担	・障害者計画等に生涯学習の位置付け ・自立支援協議会を通じた地域における生涯学習、余暇、レクリエーション等の活動	・障害者の生涯学習のニーズ等の把握 ・ニーズ等を生涯学習関係者へのつなぎ ・社会教育担当者と自立支援協議会とのつなぎ
社会福祉協議会	・ボランティアセンター職員、ボランティアコーディネーター	・ボランティアスタッフの不足	・ボランティア体験や障害理解講座において、障害者の生涯学習を踏まえた、ボランティアの育成	・ボランティア団体、社会教育施設との連携促進 ・大学の学生と障害者の生涯学習活動とのつなぎ
障害福祉サービス等を実施する社会福祉法人	・運営スタッフ等 ・ボランティア ・障害当事者	・学びの必要性を理解しつつも、ノウハウや地域資源の情報の不足	・各施設、制度の趣旨を踏まえつつ、障害者が意欲をもって効果的に学び続け成長していくことのできる取組を期待	・障害福祉サービス等の制度内外を問わず、生涯学習支援を作り出す工夫 ・学びの場の情報収集・発信
NPO等各種団体	・運営スタッフ ・ボランティア ・障害当事者	・柔軟性と機動力のある取組が可能 ・持続可能なしくみづくり	・障害当事者の社会参加を促す取組 ・組織や制度にとらわれない自由で柔軟な取組 ・障害当事者等に寄り添った取組	・障害当事者のニーズ等を多方面へ情報発信 ・新たなプログラム開発などこの分野の牽引役 ・行政等への必要な政策提案など

文部科学省
「障害者の生涯を通じた多様な学習活動の充実について」より